

ザンビア通信 第3号



第2章～ザンビアの空～

【カブ工技術訓練校（服飾コース）】

私の配属先は、1982年に設立された国立の職業訓練校で、料理、自動車、服飾、木工、電気、コンピューターなどのコースがあります。日本でのボランティア活動応募時には生徒数約120名という情報でしたが、現在は約70名程度です。私の担当している服飾コースは、現在15名の生徒が在籍していますが、全員そろうことはありません。何とか動くミシンが4～5台です。電動ミシンもありますが、故障中で手回しミシンか、足踏みミシンを使っています。

※学校からの帰り道（夕日が綺麗でした）



※手回しミシン



※足踏みミシン

【服飾コース生徒～授業風景～】



【ゲストハウスでの生活】

ゲストハウス暮らしは電気も水もほとんど止まることがなく、お湯も出るため、便利ではありました。ただ、自炊ができません。毎日外食する気も起きず、夜は暗い中歩くこともできないため、リンゴやバナナを夕飯の代わりにしたり、お菓子を食べて終わる日もありました。ザンビアの食事は種類も少なく、また1度に大量の油を使うため、毎日続けて食べると胃が疲れます。自炊ができないということが、こんなにストレスだったとは、自分でも驚きです。(ザンビアの料理などはまた改めて報告します。)

※豪華な食事（お金がない人は肉は食べられません）



牛肉

鶏肉

「付け合わせ」
豆、ナス、カボチャの葉、
サツマイモの葉。
調理法は炒め物と煮物が
多いです。

「シマ」(主食)

毎日、ほぼ3食このシマを食べます。
トウモロコシの粉をお湯で溶いたもの
で日本人にとっての米と同じです。この
「シマ」かフライドポテトの選択が多
く、店では米も売っていますが、私の街
ではレストランのメニューに、米の選択
はほとんどありません。

ゲストハウスでの洗濯は、私自身も、スタッフも全て手洗いでした。ゲストハウスのスタッフがシーツなどを干すスペースに、一緒に自分の洗濯物も干さしてもらいました。



※洗濯は手洗い！

また、いくらスタッフと仲良くなったとはいえ、貴重品も含め荷物を出したままにすることもできず、毎回外出時にはスーツケースに片付け、鍵をかけ…また出したり…と、意外とこれらもストレスでした。



【家探し】

7月下旬に赴任してすぐ、家探しを始めました。家探しといっても不動産屋さんがいません！首都ルサカには数件、不動産業を行う会社があるようですが、地方にはそのようなシステムがありません。ザンビア人の口づてネットワーク頼みです。とにかく学校職員に部屋を探していることをアピールし、空いている部屋を紹介してもらうしか方法がありません。木に貼り紙がしてあり、「For Lent」「3bed room」などと書いてありますが、場所もザンビア人同士が名付けているエリア名のため、どこかわからず、大家さんがどこの誰だかわからない人とお金のやり取りをすると、何かあった時、誰も助けてくれないため、結局、学校の先生方を頼るしかありませんでした。

ザンビア人が綺麗と感じる部屋と、日本人が綺麗と感じる部屋は全く違います。最初の数件見せてもらった時は、感覚の違いに驚くばかり！まさか「こんな汚い所は嫌だ」とは言えず、セキュリティ上の問題を指摘する形で、断りました。「私はここでもOKなんだけど、会社のルール上〇〇がないからダメだ…」というように、あくまで、会社が住居費を支払う条件を満たしていないという説明が、一番納得してもらえないのかと考えました。

自分でも歩き回り、家探しの大変さを痛感し、日本の不動産屋さんが、本当にありがたく思えました。

【やっと決まった我が家～これでも地方の高級物件～】



※外観（現在は外壁もペイントされ、もう少し見栄えが良いです）

乾季のため土も植物もカラカラに乾いた状態です。私は7月にザンビアに赴任し、12月上旬まで雨を一度も見ませんでした。

勤務先まで徒歩約10分。やっと住むところが決まりました。

日本の長屋のような所で、2世帯続きの家です。これでも地方の高級物件です。

私はシニアボランティアなので、配慮されているようです。若い隊員の中には、電気も水道もないような所に住んでいる人もいます。電気は最低限のものをソーラーパネルでまかない、水は近くの井戸からくんでくるそうです。私の家も、毎日断水の時間はありますが、水くみがないだけ、らくなのだと思います。



※台所



※浴室



※トイレ



ドアノブが片側にしかない寝室のドア→頼んでから1ヶ月後、無事につきました。



最初は勝手口にもドアノブなし。セキュリティーのため、グリルドアという鉄格子扉との二重扉になっています。

【一人暮らしの初自炊】



ザンビアの調理は電気か炭で行います。炭の場合、日本の七輪のようなものを使いますが、私は、電気コンロを購入しました（停電時は使えません）。2ヶ月以上、外食続きだったため、初めての食事はやっぱりお米！調理器具や調味料もそろっていなかったため、鍋で米を炊き、塩むすびとトマトサラダを作りました。久しぶりのお米の味に、涙が出そうでした。